

気づき、考え、実行する。

いしかわ青少年赤十字ニュース



2022年3月発行
日本赤十字社石川県支部
TEL:076-239-3880
赤十字 いしかわ Q 検索

今の自分たちにできること 石川県立田鶴浜高等学校 「愛と平和のワンコイン募金活動」

12月8日(水)～10日(金)の3日間、「愛と平和のワンコイン募金活動」を実施しました。本来は、近江町での街頭募金として計画された活動でしたが、病院や福祉施設での実習がある本校は、新型コロナウイルス感染症の活動制限として、金沢での活動に参加できませんでした。そのため、学校での活動として実施しました。登校してくる生徒や先生方に募金の協力をお願いしたところ「アジア大洋州地域の皆さんが安全な水を飲めるといいね」という言葉を添えて募金をする生徒もいるなど、心温まる光景が見られる3日間でした。

本校は、この「愛と平和のワンコイン募金」を始めるきっかけとなったイベント「愛と平和の祭典 2021 in NANO」にも参加しており、そこでは、核兵器廃絶や平和の実現に向けて取り組む長崎県の高校生平和大使や県内の各高校の参加者と日頃の活動紹介を通して意見交換を行い、平和について考えました。



2022年は、青少年赤十字創設100周年です。

コロナは外! 笑顔は内!

野々市市立御園小学校

コロナ禍で楽しい行事が減り、図書室も体育館も使用割が減る中で、学校生活の中の「楽しみ」を創り、学校の一体感も高める! そんな思いでV・S(ボランティアサービス)を提案しました。廊下の掲示や1人1台の情報端末で『おにさん』の作り方を伝えると、たくさんの子が『おにさん』を折り、それぞれに顔を描いて模造紙に貼ってくれました。中には、毎日貼りに来てくれる一年生のグループも。第5派の時は、みんなで同じように千羽鶴を折って楽しみました。だれにでもできるスチV・S。いかがですか。



V・S(ボランティアサービス)って何?

青少年赤十字というV・Sとは、自分や周りの人が「ともに生きる」ための自発的な活動のことです。みんなで生活をしていると困ったことや問題が出てきます。その困ったことや問題を自分たちで解決するため、どんなことをすれば自分や周りの人がより楽しくなったり、助かったり、楽になるかを考えて行動することです。

東日本大震災より10年 津幡町立津幡中学校 当時の思いと応急処置を学ぶ

令和3年10月29日(金)、文化祭で東日本大震災の講演を聴き、地震の被害について学び、被災された方の思いにふれました。当時の記憶がほとんどない生徒たちは、災害の恐ろしさを再認識するとともに、有事の際に備えることの重要性を感じていました。

その後の応急処置の講習では、身の回りにある簡単なもの(今回はハンカチ)を使って、けがの手当ての方法などを実践しました。また、給食は防災食を食べることで、講演の内容をより自分ごととしてとらえると同時に、普段の生活が便利で有難いことであると改めて認識していました。



学童クラブで防災教室

8月5日(木)、金沢市内の長坂台校下ほしぞら学童クラブで、防災教室を開催しました。学童クラスに通う小学1～6年生の約25人が台風・豪雨などの風水害からいのちを守るために気を付けることなどを学びました。また、併せて赤十字の成り立ちや活動、新型コロナウイルス感染への不安からくる差別や偏見を断ち切る大切さを学びました。参加した子どもたちは「今日勉強したことを友だちや家族にも伝える」と話していました。



オンラインでの「JRCリーダーシップ・トレーニング・センター」

7月29日(木)に「JRCリーダーシップ・トレーニング・センター」を開催し、JRC(青少年赤十字)の小中高の児童・生徒53名が参加しました。

参加者は、オンラインで学校紹介、赤十字の歴史や7原則についての学習、グループワーク等を通じて「気づき」「考え」「実行」することを学び、楽しみながら自主性や協調性、リーダーシップを育むことができました。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、日程の変更や部分中止などがありましたが、準備・参加いただいた指導者の先生方、児童・生徒の皆さんのおかげで無事終わることが出来ました。

